

ATP製剤

ATP腸溶錠20mg「NP」

ATP ENTERIC COATED TABLETS

（アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物製剤）

貯 法：室温保存、開封後吸湿注意
使用期限：容器等に記載
注 意：「取扱い上の注意」参照

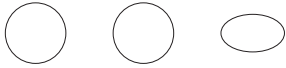
承認番号	21900AMX00860
薬価収載	2007年 6 月
販売開始	1974年 3 月
再評価結果	1999年 6 月

【組成・性状】

1. 組成

販売名	ATP腸溶錠20mg「NP」
有効成分 （1錠中）	アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物 22.0mg （無水物として 20.0mg）
添加物	乳糖水和物、パレイショデンプン、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、酸化チタン、精製白糖、沈降炭酸カルシウム、タルク、ショ糖脂肪酸エステル、精製ゼラチン、アラビアゴム末、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、カルナウバロウ、黄色 5 号

2. 製剤の性状

外 形		
形 状		橙色の腸溶性糖衣錠
大 き さ	直径（mm）	7.7
	厚さ（mm）	4.3
	重量（mg）	205
識別コード		HD-030（PTPに記載）

【効能・効果】

- 下記疾患に伴う諸症状の改善
頭部外傷後遺症
- 心不全
- 調節性眼精疲労における調節機能の安定化
- 消化管機能低下のみられる慢性胃炎

【用法・用量】

アデノシン三リン酸二ナトリウム（無水物）として、1回40～60mg（2～3錠）を1日3回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジピリダモール	ジピリダモールはATP分解物であるアデノシンの血中濃度を上昇させ、心臓血管に対する作用を増強するとの報告があるので、併用にあたっては患者の状態を十分に観察するなど注意すること。	ジピリダモールのアデノシン取り込み抑制作用により、ATP分解物であるアデノシンの血中濃度が上昇する。

2. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
消化器	悪心、食欲不振、胃腸障害、便秘傾向、口内炎
循環器	全身拍動感
過敏症 ^{注)}	そう痒感、発疹
精神神経系	頭痛、眠気、気分が落ち着かない
感覚器	耳鳴
その他	脱力感

注) このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、投与しないことが望ましい。[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

5. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。

6. 適用上の注意

薬剤交付時

PTP包装の薬剤は、PTPシートから取り出して服用するよう指導すること。[PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。]

【薬物動態】

溶出挙動

ATP腸溶錠20mg「NP」は日本薬局方外医薬品規格第三部に定められたアデノシン三リン酸二ナトリウム腸溶錠の溶出規格に適合していることが確認されている。¹⁾

【薬効薬理】

1. 生体内エネルギー代謝の活性化

生体内における各種代謝過程を活性化することが認められている。

2. 筋収縮調節機能の改善

ヒトの眼精疲労、胃の下垂を伴う慢性胃炎患者で、筋収縮調節障害の改善が認められている。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物

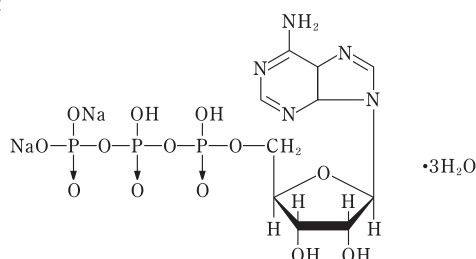
(Adenosine Triphosphate Disodium Hydrate)

化学名：Adenosine 5'-(disodium triphosphate) trihydrate

分子式： $C_{10}H_{14}N_5Na_2O_{13}P_3 \cdot 3H_2O$

分子量：605.19

構造式：



性状：・白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、わずかに酸味がある。

・水に溶けやすく、エタノール（95）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、3年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、ATP腸溶錠20mg「NP」は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。²⁾

【包装】

100錠（PTP）

1,000錠（PTP、バラ）

【主要文献】

1)ニプロ（株）：社内資料（溶出試験）

2)ニプロ（株）：社内資料（安定性試験）

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室

〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

☎ 0120-226-898

FAX 06-6375-0177



製造販売

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号